

フレクセラ・ソフトウェア  
製品ダウンロード & ライセ  
ンス ガイド -  
InstallShield 2012 Spring 以前

# 法的情報

部品番号： ISP-1900-LG05  
製品のリリース日： 2012 年 5 月

## 著作権情報

Copyright © 2014 Flexera Software LLC. All Rights Reserved.

この製品には、Flexera Software LLC およびそのライセンサーによって所有されている権利、機密技術、情報、創造的な製作物が含まれています。本技術の一部または全部を、Flexera Software LLC からの事前の書面による明示的許可なしに、使用、複製、出版、配布、表示、改変または転載することはいかなる形態または手段を問わず厳重に禁止いたします。Flexera Software LLC によって書面で明示されている場合を除き、この技術の所有は、禁反言、黙示などによっても、Flexera Software LLC が所有するいかなる知的財産権の下、ライセンスまたは権利を一切付与するものではありません。

本技術およびそれに関する情報のすべての複製は、Flexera Software LLC より許可されている場合に限り、著作権および所有権に関する通知を完全な形で表示しなければなりません。

## 知的財産

フレクセラ・ソフトウェアが所有する商標および特許の一覧は、<http://www.flexerasoftware.com/intellectual-property> を参照してください。フレクセラ・ソフトウェア製品、製品ドキュメント、およびマーケティング資料で言及されているその他すべてのブランドおよび製品名は、各社の商標または登録商標です。

## (米国内向け) 制限付権利に関する表示

本ソフトウェアは商業用コンピュータソフトウェアです。本ソフトウェアのユーザーまたはライセンス許可対象者が米国政府の代理、部署、その他の関連機関の場合、ソフトウェアまたは技術データおよびマニュアルを含むすべての関連文書の使用、複写、複製、開示、変更、公開、または譲渡に関して、ライセンス契約または本契約の条項ならびに民生機関については連邦調達規則第 12.212 条または軍事機関については国防連邦調達規則補遺第 227.7202 条による制限が適用されます。本ソフトウェアは完全に自費で開発されたものです。その他一切の使用は禁止されています。

# 目次

<b>1</b>	<b>InstallShield 2012 Spring 以前のダウンロードおよびライセンスについて</b> .....	<b>5</b>
	InstallShield、再配布可能ファイル、アドオン、サービスパック、その他のインストールをダウンロードする .....	7
	InstallShield、InstallShield Collaboration、および Standalone Build ライセンスの概要 .....	8
	ノードロック ライセンスを使って InstallShield または InstallShield Collaboration をアクティベートする .....	9
	Standalone Build のノードロック ライセンスのインストールと構成 .....	9
	InstallShield、InstallShield Collaboration、および Standalone Build の同時接続ライセンス環境を設定する .....	11
	同時接続ライセンスについての背景情報 .....	11
	新しい同時接続ライセンス サーバーを設定する .....	13
	FlexNet Licensing Server ソフトウェアの取得 .....	13
	ライセンス サーバー上で FlexNet Licensing Server ソフトウェアを設定、および同時接続ライセンスを取得する .....	14
	既存ライセンス サーバー用の同時接続ライセンスを取得する .....	18
	既存ライセンス サーバー用の新しい同時接続ライセンスを生成する .....	19
	既存 FlexNet Licensing Server 用のアップグレード同時接続ライセンスを生成する .....	20
	ユーザーのマシンをライセンス サーバーに接続して、InstallShield または InstallShield Collaboration ライセンスの チェックイン / チェックアウトを行う .....	21
	Standalone Build をビルド マシンにインストールし、ライセンス サーバーに接続してライセンスのチェックイン / チェックアウトを行う .....	23
	Standalone Build ライセンスに関する問題のトラブルシューティング .....	24
	FlexNet Licensing Server で License Server Manager (lmadmin) を使用して同時接続ライセンスをインポートおよび関連タ スクを実行する .....	27
	lmadmin の起動 .....	27
	ライセンス ファイルを lmadmin にインポートする .....	29
	ベンダー デーモンの管理 .....	31
	FlexNet Licensing Server のシステム情報を参照する .....	34



# InstallShield 2012 Spring 以前のダウンロードおよびライセンスについて

このドキュメントでは、InstallShield 2012 Spring 以前で使用できる異なるライセンス モデルについての背景情報が説明されています。また、様々なタスクの手順も記述されています：

- InstallShield のインストール、再配布可能ファイル、アドオンその他を取得する
- InstallShield、InstallShield Collaboration、および Standalone Build のライセンスを設定する



**メモ**・InstallShield 2013 以降および InstallShield 2012 Spring 以降をご使用の場合、次のサイトに掲載されているバージョン固有の手順を参照してください：

[フレクセラ・ソフトウェア製品のダウンロードおよびライセンスについて](#)

## ライセンスのオプション

InstallShield、InstallShield Collaboration、および Standalone Build には、2 つの異なるライセンス モデルが用意されています：

- **ノードロック ライセンス** - このモデルでは、製品ライセンスは特定のユーザーとマシンに固定されています。このモデルは従来型のオプションで、最も頻繁に購入されています。

InstallShield または InstallShield Collaboration のノードロック ライセンスの場合、製品をアクティベートするために製品シリアル番号が必要です。Standalone Build のノードロック ライセンスの場合、Standalone Build をインストールするマシン用にフレクセラ・ソフトウェアが生成するライセンス ファイルが必要です。

ノードロック ライセンスを使用している場合、マシンに保存されている個人のライセンスは、ユーザーの責任で管理してください。複数のユーザー間でこの種類のライセンスを共有することは、フレクセラ・ソフトウェア製品のエンドユーザー使用許諾契約書 (EULA) に違反します。

- **同時接続ライセンス** - このモデルでは、フレクセラ・ソフトウェア製品のライセンスを複数のユーザーと共有または浮動ライセンスとして使用することができます。このモデルは、「ネットワーク ライセンス / 浮動ライセンス」とも呼ばれます。同時接続ライセンスは、従来型のノードロック ライセンスに比べて、より高い柔軟性と費用対効果を提供します。このモデルは、InstallShield Premier Edition および Professional Edition で使用できますが、Express Edition では使用できません。また、InstallShield Collaboration および Standalone Build

でも使用できます。

お客様の組織がフレクセラ・ソフトウェア製品の同時接続ライセンスをご購入された場合、使用中のライセンス サーバーに製品を接続する必要があります。この後、フレクセラ・ソフトウェア製品を自分のマシンで起動するたびに、必要なライセンスが使用可能であることがサーバーでクエリされます。ライセンスが使用可能な場合、フレクセラ・ソフトウェア製品へのアクセスが許可されます。同時接続ライセンスでは、製品のアクティベーションは必要ありません。

InstallShield または InstallShield Collaboration のノードロック ライセンスと、Standalone Build のノードロック ライセンスは異なります。次の表で、主な違いを説明します。

テーブル 1-1・InstallShield（または InstallShield Collaboration）と Standalone Build のノードロック ライセンスの違い

InstallShield または InstallShield Collaboration のノードロック ライセンス	Standalone Build のノードロック ライセンス
InstallShield または InstallShield Collaboration のノードロック ライセンスのロックを解除するには、製品をアクティベートするためのシリアル番号が必要です。アクティベーションが行われなかった場合、評価期間が終了した時点で製品が使用できなくなります。	Standalone Build のノードロック ライセンスのロックを解除するには、フレクセラ・ソフトウェアが生成するライセンス ファイルをマシンに追加する必要があります。
InstallShield または InstallShield Collaboration をインストール後、アクティベーションを行わなくても、限られた日数のあいだ評価することができます。評価期間中は、ほとんどの機能を使用できます。	Standalone Build で評価モードは提供されておらず、ライセンス ファイルなしで実行することはできません。
ほとんどの場合、InstallShield または InstallShield Collaboration のアクティベーション プロセス（ノードロック ライセンスを解除する）にはインターネット接続が必要です。製品がインストールされたマシンをインターネットに接続できない場合は、電子メール アクティベーションが必要です。	Standalone Build のノードロック ライセンスは、インターネットに接続されていないロックダウン環境のビルド マシン上での使用を目的に設計されています。Standalone Build のライセンスを取得するとき、Standalone Build を実行するビルド マシンを使用することも、別のマシンを使用することもできます（別のマシンを使用する場合、ライセンス ファイルの取得プロセスで、ビルド マシンのホスト ID を入力しなくてはなりません。）。

異なるライセンス モデルに関する情報と、ニーズに一番適したオプションの選び方については、フレクセラ・ソフトウェアのセールス担当者、または最寄のリセラーにお問い合わせください。

# InstallShield、再配布可能ファイル、アドオン、サービスパック、その他のインストールをダウンロードする

次のインストールは、フレクセラ・ソフトウェア製品 & ライセンス センターからダウンロード可能です：

- InstallShield
- 再配布可能ファイル（たとえば、InstallShield 前提条件および InstallScript オブジェクト）
- Standalone Build、Repackager、InstallShield Collaboration、および InstallShield MSI ツールなどのアドオン（エンタイトルがある場合）
- FlexNet Licensing Server ソフトウェア（同時接続ライセンスを購入した場合で、組織のライセンス サーバーを設定する必要がある場合）
- InstallShield サービス パック（使用可能な場合）



**メモ** InstallShield のご購入時に製品 & ライセンス センターにお客様の組織専用のアカウントが作成され、そのアカウントにご購入者のユーザー アカウントが追加されると共に、ご購入者宛てにサインイン情報が記載されたウェルカム メッセージが電子メールで送信されます。お客様が製品のご購入担当者である場合、ウェルカム メッセージに記載されているサインイン情報を使って製品 & ライセンス センターにサインインできます。お客様がご購入担当者ではなく、まだユーザー アカウントが追加されていない場合は、[\[新しいアカウントに参加\] ページ](https://flexerasoftware.flexnetoperations.com/control/inst/registertoaccount) (<https://flexerasoftware.flexnetoperations.com/control/inst/registertoaccount>) にアクセスして、アカウント ID を入力してください（アカウント ID は、オーダー確認メールに記載されています）。



**タスク：** インストールをダウンロードする方法：

1. 製品 & ライセンス センター (<https://flexerasoftware.flexnetoperations.com/>) にサインインする。
2. 左側のナビゲーション内で、[エンタイトルメント] の下にある [製品リスト] をクリックします。  
[製品リスト] ページには、お客様のアカウントで使用できる製品ラインのすべてが表示されます。複数の製品へのアクセスがない場合は、[製品リスト] リンクをクリックすると、[製品情報] ページが直接開きます。
3. [製品リスト] ページに複数の製品が表示された場合、InstallShield リンクをクリックします。[製品情報] ページが開きます。
4. [製品とファイルのダウンロード] 列で、ダウンロードするバージョンの InstallShield リンクをクリックします。[製品のダウンロード] ページが開きます。
5. 適切なダウンロード ボタンをクリックします。

インストールのダウンロードが完了した後、製品を使用するマシン上でインストールを実行します。

# InstallShield、InstallShield Collaboration、および Standalone Build ライセンスの概要

次の表は、ご購入頂いたライセンスの種類別に、その設定方法を説明します。

テーブル 1-2・ライセンスの種類

ライセンスの種類	ライセンスの種類の説明	手順
InstallShield または InstallShield Collaboration のノードロック ライセンス	この種類のライセンスは、特定のユーザーとマシンに関連付けられています。ノードロック ライセンスの場合、製品をアクティベートするために製品シリアル番号が必要です。このモデルは従来型のオプションです。	手順については、「 <a href="#">ノードロック ライセンスを使って InstallShield または InstallShield Collaboration をアクティベートする</a> 」を参照してください。
Standalone Build のノードロック ライセンス	この種類のライセンスは、特定のユーザーとマシンに関連付けられています。Standalone Build のノードロック ライセンスの場合、Standalone Build をインストールするマシン用にフレクセラ・ソフトウェアが生成するライセンス ファイルが必要です。	ノードロック ライセンスを設定する手順は、「 <a href="#">Standalone Build のノードロック ライセンスのインストールと構成</a> 」を参照してください。
InstallShield、InstallShield Collaboration、および Standalone Build の同時接続ライセンス	この種類のライセンスを使用すると、同時に最大数のユーザー間でライセンスを浮動または共有することができます。各ユーザーのマシン上にインストールされた製品を、組織内で設定されたライセンス サーバーに接続する必要があります。ライセンス サーバーには、フレクセラ・ソフトウェアが生成するライセンス ファイルが必要です。	新しいまたは既存のライセンス サーバーを設定する手順は、「 <a href="#">InstallShield、InstallShield Collaboration、および Standalone Build の同時接続ライセンス環境を設定する</a> 」を参照してください。  製品がインストールされたマシンをライセンス サーバーに接続する手順は、以下を参照してください： <ul style="list-style-type: none"><li>・ <a href="#">ユーザーのマシンをライセンスサーバーに接続して、InstallShield または InstallShield Collaboration ライセンスのチェックイン / チェックアウトを行う</a></li><li>・ <a href="#">Standalone Build をビルドマシンにインストールし、ライセンスサーバーに接続してライセンスのチェックイン / チェックアウトを行う</a></li></ul>



# ノードロック ライセンスを使って InstallShield または InstallShield Collaboration をアクティベートする

ノードロック ライセンス モデルでは、マシン上で InstallShield または InstallShield Collaboration をアクティベートする必要があります。アクティベーションでは、製品が InstallShield エンドユーザー使用許諾契約書 (EULA) で許可されている数を超えるマシン上でアクティベートされていないかが検証されます。ノードロック ライセンスを使用している場合、マシンに保存されている個人のライセンスは、ユーザーの責任で管理してください。



タスク: *InstallShield または InstallShield Collaboration をアクティベートする方法:*

アクティベートする製品を起動します。アクティベーション ウィザードを開きます。このウィザードを使って、シリアル番号を入力して製品をアクティベートします。

InstallShield または InstallShield Collaboration のノードロック ライセンスをご購入の場合の製品アクティベート方法については、InstallShield および InstallShield Collaboration と共にインストールされる InstallShield ヘルプ ライブラリの「InstallShield の製品アクティベート」を参照してください。

## Standalone Build のノードロック ライセンスのインストールと構成

Standalone Build のノードロック ライセンスをご購入の上、Standalone Build インストールを取得すると、Standalone Build をインストールできます。Standalone Build のノードロック ライセンスを構成するためには、製品 & ライセンス センターからライセンス ファイル (.lic) を取得しなくてはなりません。以下に、Standalone Build のインストール方法、らなびにノードロック ライセンスの取得および構成方法を説明します。



タスク: *Standalone Build をインストールしてノードロック ライセンス ファイル (.lic) を取得するには、以下の手順に従います:*

1. Standalone Build インストールを起動します。
2. [ライセンスの種類] ダイアログで [ノードロック ライセンス] オプションを選択します。
3. [ホスト ID] ダイアログで、[製品 & ライセンス センターからライセンス ファイルを取得する] ボタンをクリックします。

このボタンをクリックすると、製品 & ライセンス センターへのリンクが含まれた Web ページが開きます。このリンクをクリックして、製品 & ライセンス センターにサインインします。



**ヒント**・ Standalone Build をインストールするマシンがインターネットに接続されていない場合は、インターネットに接続されているマシンから **製品 & ライセンス センター** (<https://flexerasoftware.flexnetoperations.com/>) にサインインしてください。

4. 製品 & ライセンス センターで、Standalone Build をインストールする特定のマシン用のライセンス ファイルを取得します。
  - a. 左側のナビゲーション内で、[エンタイトルメント]の下にある[製品リスト]をクリックします。

[製品リスト] ページには、お客様のアカウントで使用できる製品ラインのすべてが表示されます。複数の製品へのアクセスがない場合は、[製品リスト] リンクをクリックすると、[製品情報] ページが直接開きます。
  - b. [製品リスト] ページに複数の製品が表示された場合は、[InstallShield] リンクをクリックします。[製品情報] ページが開きます。
  - c. インストールならびに構成を行う製品の [ライセンス] リンクをクリックします。[ライセンス情報] ページが開きます。このページには、製品の使用中および未使用のライセンスについての詳細が表示されます。
  - d. リストから未使用のライセンスを見つけて、そのライセンス属する [製品に有効なライセンス] オプションを選択します。
  - e. ページの下にある [生成] ボタンをクリックします。[ライセンスの生成] ページが開きます。
  - f. そのライセンスの [ノード ホスト ID] ボックスに、Standalone Build をインストールする特定のマシン固有のホスト ID を入力します。ホスト ID は、Standalone Build インストール中に [ホスト ID] ダイアログに表示されます。
  - g. [生成] ボタンをクリックします。[ライセンスの表示] ページが開きます。
  - h. [すべて保存] ボタンをクリックします。製品 & ライセンス センターに、ライセンス ファイルをダウンロードする場所を指定できるダイアログ ボックスが表示されます。
  - i. Standalone Build をインストールするマシンがアクセスできる場所を指定します。製品 & ライセンス センターによって、指定された場所に .lic ファイル (複数可) がダウンロードされます。このファイル名は *HostID.lic* で、*HostID* 部分には、.lic ファイルを取得したときに指定したホスト ID が入ります。管理し易くするために、このファイル名を変更することもできます。
5. Standalone Build インストールで、[ホスト ID] ダイアログに戻って、[次へ] ボタンをクリックします。[ファイルの参照] ダイアログが開きます。
6. [ライセンス ファイル (.lic)] ボックスに、マシンで使用する .lic ファイルへのパスを入力するか、[参照] ボタンをクリックして、そのファイルに移動します。
7. インストールの残りのダイアログを完了します。

インストールによって、ビルド マシン上に Standalone Build がインストールされます。インストール中に、Standalone Build Program Files フォルダの System フォルダに、指定された .lic ファイルがコピーされ、License.lic に名前が変更されます。ライセンス ファイルの場所は、次の通りです：

*Standalone Build Program Files* フォルダ¥System¥License.lic

# InstallShield、InstallShield Collaboration、および Standalone Build の同時接続ライセンス環境を設定する

お客様の組織が InstallShield または InstallShield Collaboration の同時接続ライセンスをご購入された場合、お客様の環境で設定されている FlexNet Licensing Server によって、同時に実行可能な製品のインスタンス数が管理されます。これらの製品の 1 つを起動する各ユーザーは、ライセンス サーバーとの接続を確立して、必要なときにライセンスをチェックインまたはチェックアウトする必要があります。

## 同時接続ライセンスについての背景情報

組織内のユーザーによって同時接続ライセンスを使用する製品が起動されるたびに行われるプロセスを、以下に説明します。

1. ユーザーが製品を起動する。
2. ユーザーのマシン上の FlexEnabled コードが、FlexNet Licensing Server との接続を確立して、ライセンスを要求する。
3. FlexNet Licensing Server が、ライセンスが使用可能であるかどうかをチェックする。ライセンスが使用可能な場合、FlexNet Licensing Server がそれをチェックアウトします。また、サーバーがユーザーのマシンにメッセージを送信します。このメッセージによって、製品の実行が許可されます。
4. ユーザーのマシン上の FlexEnabled コードがメッセージを受信して製品を開く。

ユーザーが製品を終了したとき、ユーザーのマシン上の FlexEnabled コードが FlexNet Licensing Server にメッセージを送信して、ライセンスがチェックインされます。これによって、別のマシン上でこのライセンスが使用できるようになります。

### FlexNet Licensing Server のコンポーネント

FlexNet Licensing Server は、以下のコンポーネントで構成されます。

テーブル 1-3・FlexNet Licensing Server のコンポーネント

コンポーネント	説明
FlexEnabled 製品	FlexEnabled 製品とは、FlexNet Publisher Licensing Toolkit を使ってそのライセンス モデルを実装する製品です。InstallShield、AdminStudio、および InstallAnywhere はすべて FlexEnabled 製品です。これらの FlexEnabled 製品は、FlexNet Licensing Server と通信して、必要に応じてライセンスを要求します。

テーブル 1-3・FlexNet Licensing Server のコンポーネント（続き）

コンポーネント	説明
ライセンス ファイル	<p>ライセンス ファイル (.lic) は、ライセンス証明書を含むテキスト ファイルです。このファイルには、サーバー マシンおよびベンダー デーモンに関する情報が含まれています。また、ご購入済みの同時接続ライセンスの数に関するデータも含まれています。</p>
License Server Manager	<p>FlexNet Licensing Server 上のライセンス サーバー マネージャーは、FlexEnabled 製品との最初の通信を処理して、接続をベンダー デーモンに渡します。ライセンス サーバー マネージャーは、ライセンス権利を提供するためのベンダー デーモンを開始および管理します。</p> <p>ライセンス サーバー マネージャーには、2 種類あります：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>ladmin</b> - 最新バージョンのライセンス サーバー マネージャー。このバージョンは、グラフィック ユーザー インターフェイスを使用します。</li> <li>• <b>lmgd</b> - オリジナル バージョンのライセンス サーバー マネージャー。このバージョンは、コマンドライン インターフェイスを使用します。</li> </ul>
ベンダー デーモン	<p>ベンダー デーモンは、FlexEnabled 製品を開発したベンダーと関連付けられたファイルです。FlexNet Licensing Server を使って InstallShield、AdminStudio、InstallAnywhere、および他のベンダーが開発した FlexEnabled 製品のライセンスを管理する場合、FlexNet Licensing Server は、フレクセラ・ソフトウェアのベンダー デーモン 1 つと、その他の各ベンダーにつき 1 つのベンダー デーモンを取り扱います。</p> <p>ベンダー デーモンは、FlexEnabled 製品と FlexNet Licensing Server 間の通信を処理して、チェックアウトされているライセンスの数、およびその使用者を追跡管理します。</p>

FlexNet Licensing Server のコンポーネントに関して、以下の点にご注意ください：

- **TCP/IP を通じて通信** - InstallShield、AdminStudio、および InstallAnywhere は、TCP/IP ネットワーク通信を介してベンダー デーモンとの通信を行います。製品およびデーモンのプロセスは、ネットワーク上の別々のマシン上で実行することができ、ワイドエリア ネットワークのサイズは問いません。
- **マシン非依存型の通信** - フレクセラ・ソフトウェア製品と FlexNet Licensing Server 間におけるトラフィックのフォーマットはマシンに依存しないため、異種ネットワークを使用できます。このため、FlexNet Licensing Server マシンとフレクセラ・ソフトウェア製品を実行するマシンには、異なるハードウェア プラットフォーム、または異なるオペレーティング システムを使用することができます（たとえば、UNIX と Windows）。
- **ベンダーデーモン強制終了のシナリオ** - ベンダーデーモンが何らかの理由で強制終了する場合、すべてのユーザーは、そのライセンスを失います（アプリケーションが突然停止することはありません）。ユーザーは通常、ライセンス サーバー マネージャーがベンダー デーモンを再開したときに自動的にライセンスを再取得しますが、ベンダー デーモンの使用不可能な状態が長引くと、製品が終了する場合があります。

## 新しい同時接続ライセンス サーバーを設定する

新しい同時接続ライセンス環境を設定して、InstallShield、InstallShield Collaboration、または Standalone Build の同時接続ライセンスを管理する場合、FlexNet Licensing Server ソフトウェアをダウンロードおよびインストールして、ライセンスを取得する必要があります。このセクションでは、以下の手順を説明します：

- ・ FlexNet Licensing Server ソフトウェアの取得
- ・ ライセンス サーバー上で FlexNet Licensing Server ソフトウェアを設定、および同時接続ライセンスを取得する

既存の FlexNet Licensing Server を使って同時接続ライセンスを管理する場合、ライセンス ファイルを取得する必要があります。詳細については、「[既存ライセンス サーバー用の同時接続ライセンスを取得する](#)」を参照してください。



*ヒント*・InstallShield または InstallShield Collaboration がインストールされているマシンをライセンス サーバーに接続する方法については、「[ユーザーのマシンをライセンス サーバーに接続して、InstallShield または InstallShield Collaboration ライセンスのチェックイン/チェックアウトを行う](#)」を参照してください。

Standalone Build がインストールされているマシンをライセンス サーバーに接続する方法については、「[Standalone Build をビルド マシンにインストールし、ライセンス サーバーに接続してライセンスのチェックイン/チェックアウトを行う](#)」を参照してください。

## FlexNet Licensing Server ソフトウェアの取得

FlexNet Licensing Server ソフトウェアは、同時接続ライセンスを保有するユーザーからのライセンス チェックアウトおよびチェックイン要求を管理します。FlexNet Licensing Server のインストールは、同時接続ライセンス ソフトウェアをインストールする単一の圧縮された実行可能ファイルです。このインストールを、ライセンス管理用のマシンで実行します。InstallShield、InstallShield Collaboration、または Standalone Build の同時接続ライセンスをご購入の場合のみ、インストールが必要です。

Windows ベース システム用の FlexNet Licensing Server インストールは、InstallShield インストール、サービス パックその他のダウンロード ファイルと共に、製品 & ライセンス センターからダウンロードすることができます。ダウンロード ファイルを取得する方法については、「[InstallShield、再配布可能ファイル、アドオン、サービスパック、その他のインストールをダウンロードする](#)」を参照してください。

同時接続ライセンス サーバーとして使用するマシンの選び方については、[ライセンス サーバー マネージャーのダウンロード ページ](#) ([http://www.globes.com/support/fnp\\_utilities\\_download.htm](http://www.globes.com/support/fnp_utilities_download.htm)) で提供されている License Administration Guide の Selecting a License Server Machine 章を参照してください。



メモ・Windows 以外のオペレーティング システムが搭載されたマシンを FlexNet Licensing Server として使用する  
ためには、以下のサイトから適切なインストールをダウンロードしてください：

[http://www.globes.com/support/fnp\\_utilities\\_download.htm](http://www.globes.com/support/fnp_utilities_download.htm)

## ライセンス サーバー上で FlexNet Licensing Server ソフトウェアを設定、および同時接続ライセンスを取得する

FlexNet Licensing Server ソフトウェアを取得したら、ライセンス サーバーとして使用するマシン上にこのソフトウェアをインストールできます。InstallShield の同時接続ライセンスを管理するための FlexNet Licensing Server を構成するためには、製品 & ライセンス センターからライセンス ファイル (.lic) を取得しなくてはなりません。

FlexNet Licensing Server ソフトウェアには、ライセンス サーバー マネージャー (ladmin) が含まれています。ライセンス サーバー マネージャーでは、Web ベースのユーザー インターフェイスを使って、以下のタスクを行うことができます：

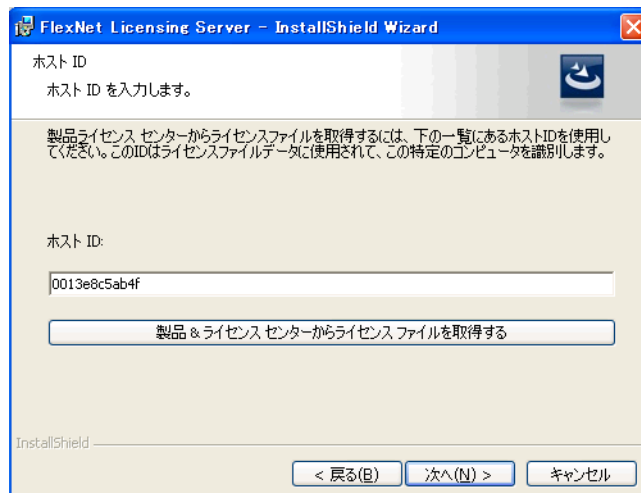
- ・ 既存ライセンス ファイルのインポート。
- ・ すべてのサーバー構成、およびほとんどの管理機能を実行する。
- ・ ユーザーの追加と削除、およびユーザーの権限を構成する。

次に、同時接続ライセンスを使用する場合の FlexNet Licensing Server ソフトウェアのインストールおよび構成方法について説明します。



タスク： *FlexNet Licensing Server をインストールおよび同時接続ライセンス ファイル (.lic) を取得するには、以下の手順に従います：*

1. FlexNet Licensing Server インストールを起動する。
2. [ホスト ID] ダイアログで、[製品 & ライセンス センターからライセンス ファイルを取得する] ボタンをクリックします。



このボタンをクリックすると、製品 & ライセンス センターへのリンクが含まれた Web ページが開きます。このリンクをクリックして、製品 & ライセンス センターにサインインします。

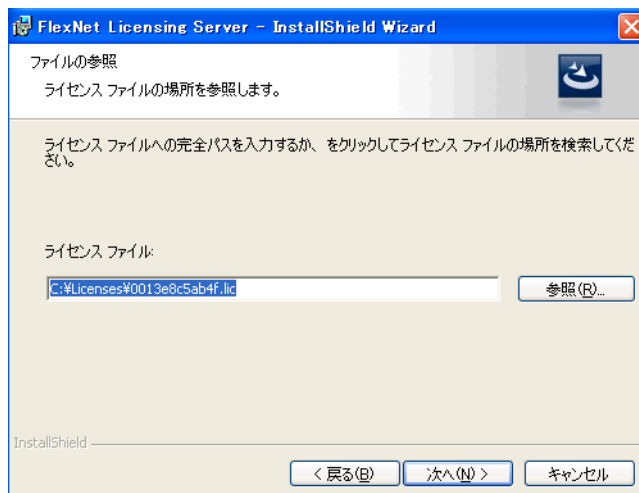


**ヒント**・FlexNet Licensing Server ソフトウェアをインストールするマシンがインターネットに接続されていない場合は、インターネットに接続されているマシンから製品 & ライセンス センター (<https://flexerasoftware.flexnetoperations.com/>) にサインインしてください。

3. 製品 & ライセンス センターで、FlexNet Licensing Server をインストールする特定のマシン用のライセンスファイルを取得します：
  - a. 左側のナビゲーション内で、[エンタイトルメント]の下にある[製品リスト]をクリックします。

[製品リスト] ページには、お客様のアカウントで使用できる製品ラインのすべてが表示されます。複数の製品へのアクセスがない場合は、[製品リスト] リンクをクリックすると、[製品情報] ページが直接開きます。
  - b. [製品リスト] ページに複数の製品が表示された場合は、[InstallShield] リンクをクリックします。[製品情報] ページが開きます。
  - c. インストールならびに構成を行う製品の[ライセンス] リンクをクリックします。[ライセンス情報] ページが開きます。このページには、製品の使用中および未使用のライセンスについての詳細が表示されます。
  - d. リストから未使用のライセンスを見つけて、そのライセンス属する[製品に有効なライセンス] オプションを選択します。
  - e. ページの下にある[生成] ボタンをクリックします。[ライセンスの生成] ページが開きます。
  - f. [生成するライセンスの数] ボックスに、FlexNet Licensing Server で管理できるように許可するライセンスの数を入力します。
  - g. [サーバー ホスト ID] ボックスに、FlexNet Licensing Server をインストールする特定のマシン固有のホスト ID を入力します。ホスト ID は、FlexNet Licensing Server インストール中に[ホスト ID] ダイアログに表示されます。

- h. 冗長ライセンス サーバー クラスターを構成する場合、必要に応じてその他の設定を行います。
  - i. [生成] ボタンをクリックします。[ライセンスの表示] ページが開きます。このページには、製品 & ライセンス センターが FlexNet Licensing Server のライセンス ファイルを作成するために使用する情報が表示されます。
  - j. [すべて保存] ボタンをクリックします。製品 & ライセンス センターに、ライセンス ファイルをダウンロードする場所を指定できるダイアログ ボックスが表示されます。
  - k. FlexNet Licensing Server をインストールするマシンが常にアクセス可能な場所を指定します。製品 & ライセンス センターによって、指定された場所に .lic ファイルがダウンロードされます。このファイル名は *HostID.lic* で、*HostID* 部分には、.lic ファイルを取得したときに指定したホスト ID が入ります。管理し易くするために、このファイル名を変更することもできます。
- l. FlexNet Licensing Server インストールで、[ホスト ID] ダイアログに戻って、[次へ] ボタンをクリックします。[ファイルの参照] ダイアログが開きます。

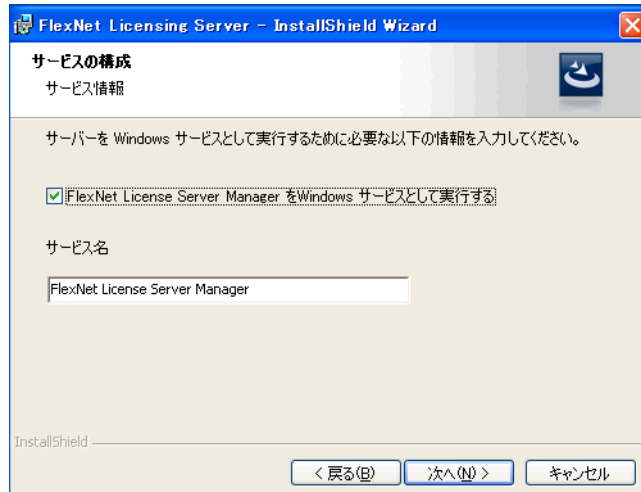


4. [ライセンス ファイル (.lic)] ボックスに、オプションで現在のマシンで使用する .lic ファイルへのパスを入力するか、[参照] ボタンをクリックして、そのファイルに移動します。.lic ファイルを選択すると、FlexNet Licensing Server は、その現在の場所でファイルを使用します。つまり、ファイルが新しい場所に移動または



その名前が変更されることはありません。後でライセンス サーバー マネージャー (lmadmin) を使って、ライセンス ファイルを FlexNet Licensing Server に追加することができます。

5. [次へ] ボタンをクリックします。[サービスの構成] ダイアログが開きます。

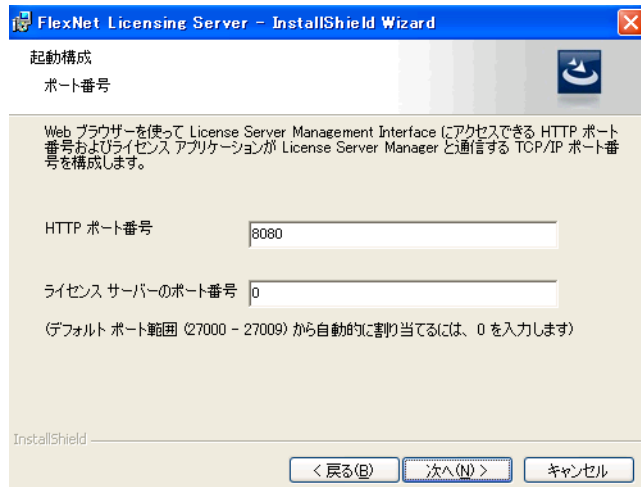


6. FlexNet Licensing Server を Windows サービスとして実行する場合、チェックボックスを選択してから、サービスに使用する名前を入力します。



**重要**・高レベルな稼動状態を保つため、FlexNet License Server Manager を Windows サービスとして実行することが推奨されます。Windows サービスとして実行されている場合、FlexNet Licensing Server マシンが再起動する必要があるときに、サービスも再開されます。このため、FlexNet Licensing Server を再び使用可能な状態にするために、ライセンスをチェックアウトしようとするユーザーまたはマシンが、手動で操作を行う必要がありません。

7. [次へ] ボタンをクリックします。[起動構成] ダイアログが開きます。



8. [HTTP ポート番号] ボックスと [ライセンス サーバー ポート番号] ボックスに、適切なポート番号を入力します。これらのボックスには、デフォルト値を使用することが推奨されます。

HTTP ポート番号は、どのライセンスがどのマシンによって使用中であるかを監視するための Web サーバーをホストするために使用されます。

ライセンス サーバー ポート番号は、FlexNet Licensing Server 上のベンダー デーモンと FlexNet Enabled 製品 (InstallShield など) との間の通信で使用されます。

9. インストールの残りのダイアログを完了します。最後のダイアログには、FlexNet Licensing Server Manager Web アプリケーション、つまりライセンス サーバー マネージャー (Imadmin) の起動を指定するためのチェックボックスが表示されます。

インストールがマシン上に FlexNet Licensing Server をインストールします。最後のダイアログでチェックボックスを選択した場合、インストールがライセンス サーバー マネージャーを起動します。

サーバーが実行中であることをテストするには、インストールを実行するマシン上で Web ブラウザーを開いてから、次の URL に移動します (*PortNumber* には、適切なポート番号を挿入します) :

<http://localhost:PortNumber/>

また、別のマシンからは、次の URL を使ってこのポータルにアクセスすることができます。このサイトにアクセスするためには、使用中のマシンのファイアウォール設定の変更が必要な場合もあります。

<http://MachineName:PortNumber/>

*MachineName* は、FlexNet Licensing Server ソフトウェアが搭載されたマシンの名前です。*PortNumber* は、インストール中に入力したポート番号です。デフォルトのポート番号は 8080 です。



**重要**・多くの組織では、同時接続ライセンスを管理するために FlexNet Licensing Server を設定する担当者と、InstallShield またはその関連ツールをインストールならびに使用するユーザーとが異なります。その場合、ユーザーに InstallShield またはその他のツールをインストールしてから FlexNet Licensing Server に接続するときに必要な以下の情報を通知してください:

- ・ FlexNet Licensing Server ソフトウェアがインストールされているサーバーの名前または IP アドレス
- ・ [起動構成] ダイアログに入力したライセンス サーバー ポート番号。(ほとんどの場合、この値は空白です。この値を空白のままにする場合、InstallShield またはその他のツールのユーザーに、をインストールする際にポート番号設定を空白のままに残すように指示してください。)

## 既存ライセンス サーバー用の同時接続ライセンスを取得する

既存する FlexNet Licensing Server を使って同時接続ライセンスを管理する場合、同時接続ライセンス ファイルを取得する必要がありますが、FlexNet Licensing Server ソフトウェアをインストールする必要はありません。

既存ライセンス サーバー用に製品 & ライセンス センターからライセンス ファイルを取得する手順は、標準の同時接続ファイルを購入している場合と、アップグレード同時接続ライセンスを購入している場合によって多少異なります。

- 標準の同時接続ライセンスファイルを使うと、InstallShield、InstallShield Collaboration、および / または Standalone Build の 1 つのバージョンの同時接続ライセンスを管理できます。

この種類のライセンス ファイルを取得する手順については、「[既存ライセンス サーバー用の新しい同時接続ライセンスを生成する](#)」を参照してください。

- アップグレード同時接続ライセンス ファイルを使うと、InstallShield、InstallShield Collaboration、および / または Standalone Build の新しいバージョンと、以前に購入済みバージョンの同時接続ライセンス ファイルを管理できます。アップグレード同時接続ライセンス ファイルは、追加ライセンスを提供するのではなく、既存ファイルに含まれているライセンスをアップグレードする点にご注意ください。

この種類のライセンス ファイルを取得する手順については、「[既存 FlexNet Licensing Server 用のアップグレード同時接続ライセンスを生成する](#)」を参照してください。

## 既存ライセンス サーバー用の新しい同時接続ライセンスを生成する

標準の同時接続ライセンスファイルを使うと、InstallShield、InstallShield Collaboration、および / または Standalone Build の 1 つのバージョンの同時接続ライセンスを管理できます。製品 & ライセンス センターで、FlexNet Licensing Server ソフトウェアを使用する特定のマシン用のライセンス ファイルを取得します。



タスク: *InstallShield、InstallShield Collaboration、および / または Standalone Build の 1 つのバージョンの同時接続ライセンスを管理できる、新しい標準の同時接続ライセンスファイルを取得するには、以下の手順に従います:*

- 製品 & ライセンス センター (<https://flexerasoftware.flexnetoperations.com/>) にサインインする。
- 製品 & ライセンス センターで、FlexNet Licensing Server をインストールする特定のマシン用のライセンス ファイルを取得します:
  - 左側のナビゲーション内で、[エンタイトルメント] の下にある [製品リスト] をクリックします。

[製品リスト] ページには、お客様のアカウントで使用できる製品ラインのすべてが表示されます。複数の製品へのアクセスがない場合は、[製品リスト] リンクをクリックすると、[製品情報] ページが直接開きます。

- b. [製品リスト] ページに複数の製品が表示された場合は、[InstallShield] リンクをクリックします。[製品情報] ページが開きます。
- c. インストールならびに構成を行う製品の [ライセンス] リンクをクリックします。[ライセンス情報] ページが開きます。このページには、製品の使用中および未使用のライセンスについての詳細が表示されます。
- d. リストから未使用のライセンスを見つけて、そのライセンス属する [製品に有効なライセンス] オプションを選択します。
- e. ページの下にある [生成] ボタンをクリックします。[ライセンスの生成] ページが開きます。
- f. [生成するライセンスの数] ボックスに、FlexNet Licensing Server で管理できるように許可するライセンスの数を入力します。
- g. [既存のライセンス ホスト] リストで、適切なオプションを選択します。この同時接続ライセンス用に既存サーバーが構成されている場合、それらがこのボックスに表示されます。
- h. 冗長ライセンシング サーバー クラスターを構成する場合、必要に応じてその他の設定を行います。
- i. [生成] ボタンをクリックします。[ライセンスの表示] ページが開きます。このページには、製品 & ライセンス センターが FlexNet Licensing Server のライセンス ファイルを作成するために使用する情報が表示されます。
- j. [すべて保存] ボタンをクリックします。製品 & ライセンス センターに、ライセンス ファイルをダウンロードする場所を指定できるダイアログ ボックスが表示されます。
- k. FlexNet Licensing Server マシンから常にアクセス可能な場所を指定します。製品 & ライセンス センターによって、指定された場所に .lic ファイルがダウンロードされます。このファイル名は *HostID.lic* で、*HostID* 部分には、.lic ファイルを取得したときに指定したホスト ID が入ります。管理し易くするために、このファイル名を変更することもできます。

同時接続ライセンス ファイルを取得した後、FlexNet Licensing Server にこれをインポートできます。手順については、「[ライセンス ファイルを lmadmin にインポートする](#)」を参照してください。

## 既存 FlexNet Licensing Server 用のアップグレード同時接続ライセンスを生成する

アップグレード同時接続ライセンス ファイルを使うと、InstallShield、InstallShield Collaboration、および Standalone Build の新しいバージョンと、以前に購入済みバージョンの同時接続ライセンス ファイルを管理できます。アップグレード同時接続ライセンス ファイルは、追加ライセンスを提供するのではなく、既存ファイルに含まれているライセンスをアップグレードする点にご注意ください。



タスク: **複数バージョンの InstallShield、InstallShield Collaboration、Standalone Build の同時接続ライセンスを管理できるアップグレード同時接続ライセンス ファイル (.lic) を取得するには、以下の手順に従います:**

1. **製品 & ライセンス センター** (<https://flexerasoftware.flexnetoperations.com/>) にサインインする。
2. **製品 & ライセンス センター** で、FlexNet Licensing Server をインストールする特定のマシン用のライセンス ファイルを取得します:
  - a. 左側のナビゲーション内で、[エンタイトルメント] の下にある [製品リスト] をクリックします。  
[製品リスト] ページには、お客様のアカウントで使用できる製品ラインのすべてが表示されます。複数の製品へのアクセスがない場合は、[製品リスト] リンクをクリックすると、[製品情報] ページが直接開きます。
  - b. [製品リスト] ページに複数の製品が表示された場合、InstallShield リンクをクリックします。[製品情報] ページが開きます。
  - c. 構成を行う製品バージョンの [ライセンス] リンクをクリックします。[ライセンス情報] ページが開きます。このページには、製品の使用中および未使用のライセンスについての詳細が表示されます。通常、このページの詳細には使用可能なライセンスが存在しないことを示します。これは、アップグレード同時接続ライセンスは追加ライセンスを提供しないためです。アップグレード同時接続ライセンスは、既存のライセンスをアップグレードします。
  - d. アップグレードするライセンスを見つけて、[アップグレード] ボタンをクリックします。[ライセンスの表示] ページが開きます。アップグレード ライセンスのご利用が不可能な場合、[アップグレード] ボタンは表示されません。
  - e. [すべて保存] ボタンをクリックします。製品 & ライセンス センターに、ライセンス ファイルをダウンロードする場所を指定できるダイアログ ボックスが表示されます。
  - f. FlexNet Licensing Server マシンから常にアクセス可能な場所を指定します。製品 & ライセンス センターによって、指定された場所に .lic ファイル (複数可) がダウンロードされます。このファイル名は *HostID.lic* で、*HostID* 部分には、.lic ファイルを取得したときに指定したホスト ID が入ります。管理し易くするために、このファイル名を変更することもできます。

アップグレード同時接続ライセンス ファイルを取得した後、FlexNet Licensing Server にこれをインポートできます。手順については、「[ライセンス ファイルを Imadmin にインポートする](#)」を参照してください。

## ユーザーのマシンをライセンス サーバーに接続して、InstallShield または InstallShield Collaboration ライセンスのチェックイン / チェックアウトを行う

InstallShield または InstallShield Collaboration の同時接続ライセンスをご購入の場合、まず組織内で FlexNet Licensing Server をセットアップする必要があります。セットアップが完了したあと、InstallShield または InstallShield Collaboration がインストールされているマシン上で、使用する FlexNet Licensing Server を識別しなくてはなりません。



タスク: *InstallShield または InstallShield Collaboration 用の FlexNet Licensing Server を識別するには、以下の手順に従います*  
:

1. InstallShield または InstallShield Collaboration を起動します。製品が起動する前に、アクティベーション ウィザードが開きます。
2. [製品がライセンス情報をライセンス サーバーから取得できるように構成する] オプションを選択してから、[次へ] ボタンをクリックします。製品が [ライセンス サーバーの指定] ダイアログを表示します。
3. [サーバー] ボックスで、ライセンス サーバーの IP アドレスを入力するか、[参照] ボタンをクリックして、サーバーを参照します。
4. お客様の環境で構成されている FlexNet Licensing Server がカスタム ポート番号を使用している場合は、[ポート] ボックスにそのポート番号を入力します。多くの場合、ポート番号は空白のままです。
5. [テスト接続] ハイパーリンクをクリックします。

ウィザードがマシンをライセンス サーバーに接続して、マシンが製品のライセンスをチェックアウトおよびチェックインできるかどうかを検証します。



*メモ*・InstallShield 2009 または InstallShield 2008 用の同時接続ライセンスをチェックアウトしたマシン上で、InstallShield の新しい同時接続ライセンスを使用できるようにするには、以下のアップデートをダウンロードしてクライアント マシンにインストールする必要があります:

*InstallShield 2008 および InstallShield 2009 同時接続ライセンス アップデート*

*(<http://saturn.installshield.com/product/is/2010/domestic/licenseupdate/licenseupdater.exe>)*

## Standalone Build をビルド マシンにインストールし、ライセンス サーバーに接続してライセンスのチェックイン / チェックアウトを行う

Standalone Build の同時接続ライセンスをご購入の上、Standalone Build インストールを取得すると、1 台以上のマシンに Standalone Build をインストールできます。Standalone Build の同時接続ライセンスを構成するには、Standalone Build をマシンにインストールするときに使用する FlexNet Licensing Server を識別する必要があります。この後、Standalone Build をマシンで起動するたびに、サーバーで必要なライセンスが使用可能であることが確認されます。ライセンスが使用可能な場合、そのマシンによる Standalone Build へのアクセスが許可されます。



タスク: *Standalone Build をインストールして、組織の同時接続ライセンスを管理している FlexNet Licensing Server を識別するには、以下の手順に従います:*

1. Standalone Build インストールを起動します。
2. [ライセンスの種類] ダイアログで [ネットワーク ライセンス] オプションを選択します。
3. [ライセンス サーバーおよびポート] ダイアログで、ライセンス サーバーの名前または IP アドレスを入力します。お客様の環境で構成されている FlexNet Licensing Server がカスタム ポート番号を使用している場合は、そのポート番号を入力します。多くの場合、ポート番号は空白のままです。設定への入力完了したら、[テスト接続] ボタン をクリックして、ビルド マシンが Standalone Build のライセンスをチェックアウトおよびチェックインできるかどうかを検証します。
4. インストールの残りのダイアログを完了します。

インストールによって、ビルド マシン上に Standalone Build がインストールされます。インストールは、Server.ini ファイルという名前のファイルも作成します。このファイルは、Standalone Build Program Files フォルダの System フォルダにインストールされます:

*Standalone Build Program Files* フォルダ¥System¥server.ini

Server.ini ファイルには、次の行が含まれています:

[FlexNet Publisher Server]

Server=Port@ServerName

上の例で、Port はカスタム ポート番号が使用される場合のポート番号です。多くの場合、ポート番号は省略されます。ServerName は、FlexNet Licensing Server ソフトウェアが搭載されたマシンの名前です。



**メモ** Standalone Build をビルド マシンにインストールするとき、ライセンス サーバー名とポート番号を指定しなくても、前述のディレクトリにある server.ini ファイルにこの情報を手作業で追加すれば、Standalone Build をインストールすることができます。Standalone Build は、この情報（または専用のノードロック ライセンス ファイル）なしでは実行できません。

License Server Manager (ladmin) の使用方法については、「[FlexNet Licensing Server で License Server Manager \(ladmin\) を使用して同時接続ライセンスをインポートおよび関連タスクを実行する](#)」を参照してください。

# Standalone Build ライセンスに関する問題のトラブルシューティング

次の表には、Standalone Build を使ってリリースをビルドするときに発生する可能性のある、ライセンス関連のいくつかの問題の解決方法についてのヒントが掲載されています。

テーブル 1-4・ライセンス関連のエラーと警告

ビルド エラー / 警告 番号	エラー / 警告メッセージ	トラブルシューティング情報
-7216	この製品のライセンスでは、iscmdbld.exe の %d インスタンスのみを同時に実行できません。%d インスタンスが検出されました。	このエラーは、Standalone Build のノードロック ライセンスを使用していて、Standalone Build の同時に使用可能なインスタンスの数を越えた場合に発生します。  このエラーを解決するためには、Standalone Build を指定された同時使用インスタンスの数を越えて起動しないでください。



テーブル 1-4・ライセンス関連のエラーと警告（続き）

ビルド エラー / 警告番号	エラー / 警告メッセージ	トラブルシューティング情報
-7159	製品ライセンスの期限が切れているか、まだ初期化されていません。	<p>このビルド エラーは、Standalone Build を使ってリリースをビルドしようとしたときに、以下のいずれも当てはまらなかった場合に発生します：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>次のディレクトリに License.lic ノードロック ファイルが存在しない： <i>Standalone Build Program Files</i> フォルダー¥System</li> <li>ビルド マシンが、FlexNet Licensing Server に接続されていない。FlexNet Licensing Server は同時接続ライセンスを管理します。同時接続ライセンスを使用している場合、Server.ini で FlexNet Licensing Server が指定されていなくてはなりません。このファイルは、以下のディレクトリにインストールします： <i>Standalone Build Program Files</i> フォルダー¥System</li> </ul> <p>Server.ini ファイルには、次の行が含まれています：</p> <pre>[FlexNet Publisher Server] Server=Port@ServerName</pre> <p>上の例で、Port はカスタム ポート番号が使用される場合のポート番号です。多くの場合、ポート番号は省略されます。ServerName は、FlexNet Licensing Server ソフトウェアが搭載されたマシンの名前です。</p> <p>このビルド エラーは、Standalone Build の同時接続ライセンスを使ってリリースをビルドしようとしたときに、FlexNet Licensing Server がダウン、または応答なしの状態の場合に発生します。</p> <p>エラーについての追加情報を取得したい場合、-v オプションを ISCmdBld.exe に渡して冗長ビルド ログを生成します。以下は、冗長ビルド ログに含まれる追加情報の例です：</p> <p><b>ライセンス サーバー マシンがダウン、または応答なしの状態です。(-96,7:11001 "WinSock: Host not found (HOST_NOT_FOUND)")</b></p> <p>Standalone Build はライセンス ファイルなし（または、Standalone Build の同時接続ライセンスの場合、FlexNet Licensing Server への接続なし）では実行できません。このエラーを解決するためには、ライセンスが正しく構成されていることを確認してください。ノードロック ライセンスを使用する場合、ライセンス ファイルをビルド マシンの正しい場所にインストールする必要があります。同時接続ライセンスを使用する場合、ライセンス ファイルは FlexNet Licensing Server にインストールしなくてはなりません。</p>

テーブル 1-4・ライセンス関連のエラーと警告（続き）

ビルド エラー / 警告番号	エラー / 警告メッセージ	トラブルシューティング情報
-7158	仮想化機能は、このエディションに含まれていません。	<p>このビルド エラーは、App-V パッケージをビルドしようとしたときに、ライセンスが App-V パッケージのビルドを許可するように構成されていない場合に発生します。</p> <p>エラーについての追加情報を取得したい場合、-v オプションを ISCmdBld.exe に渡して冗長ビルド ログを生成します。以下は、冗長ビルド ログに含まれる追加情報の例です：</p> <p><b>そのような機能は存在しません。(-5,357)</b></p> <p>このエラーを解決するには、仮想化パックを含む InstallShield または Standalone Build バージョンをご購入ください。</p>

# FlexNet Licensing Server で License Server Manager (Imadmin) を使用して同時接続ライセンスをインポートおよび関連タスクを実行する

FlexNet Licensing Server ソフトウェアには、ライセンス サーバー マネージャー (Imadmin) が含まれています。ライセンス サーバー マネージャーでは、Web ベースのユーザー インターフェイスを使って、以下のタスクを行うことができます：

- ・ フレクセラ・ソフトウェア製品用に既存する同時接続ライセンスをインポートする。
- ・ すべてのサーバー構成、およびほとんどの管理機能を実行する。
- ・ ユーザーの追加と削除、およびユーザーの権限を構成する。

Imadmin の使用方法についての詳細は、このサイトの右上にある [ヘルプ] ボタンをクリックして表示されるドキュメントを参照してください。

## Imadmin の起動

FlexNet Licensing Server が搭載されているマシンを使用しているか、組織内の別のマシンを使用しているかに関わらず、Imadmin を起動してサインインすることができます。



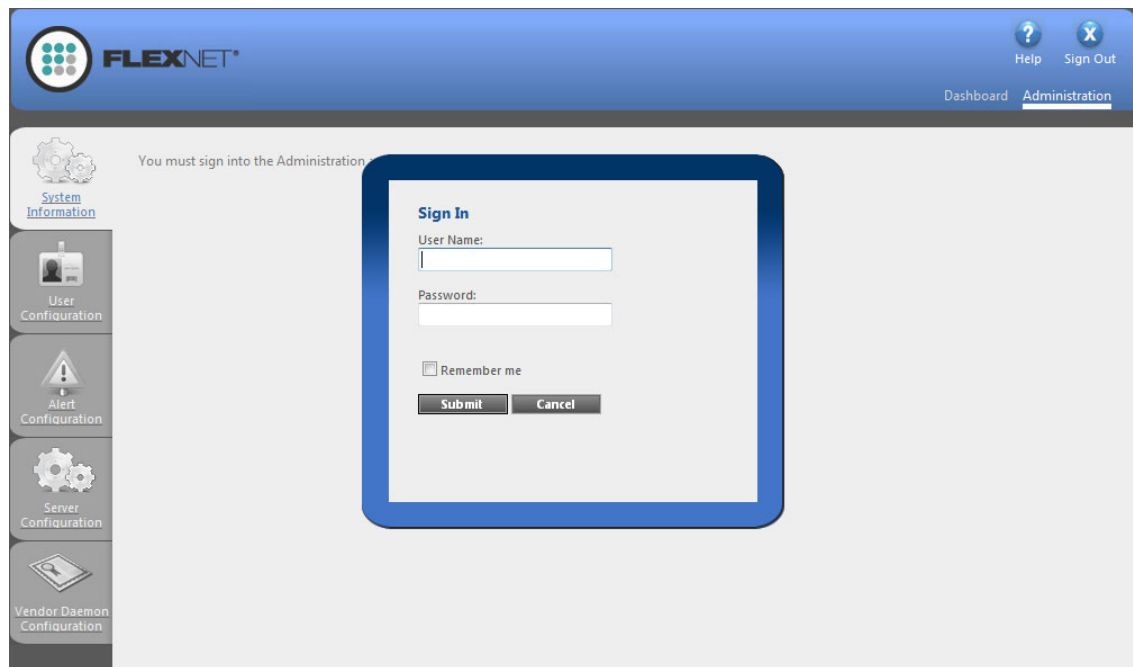
タスク： *Imadmin* を起動するには、以下の手順に従います：

1. Web ブラウザーを開いて、以下のいずれかを行います：
  - ・ FlexNet Licensing Server が搭載されているマシンを使用している場合、以下のサイトにアクセスします：  
`http://localhost:Port`  
*Port* は、Web サーバーをホストするために使用される HTTP ポート番号です。これは、FlexNet Licensing Server ソフトウェアのインストール時に構成されます。デフォルトのポート番号は、8080 です。
  - ・ FlexNet Licensing Server が搭載されているとは異なるマシンを使用する場合は、以下のサイトにアクセスします：  
`http://MachineName.Port`  
*MachineName* は、FlexNet Licensing Server ソフトウェアが搭載されたマシンの名前です。*Port* は、Web サーバーをホストするために使用される HTTP ポート番号です。これは、FlexNet Licensing Server ソフトウェアのインストール時に構成されます。デフォルトのポート番号は、8080 です。

## 第 1 章：InstallShield 2012 Spring 以前のダウンロードおよびライセンスについて

FlexNet Licensing Server で License Server Manager (Imadmin) を使用して同時接続ライセンスをインポートおよび関連タスクを実行する

2. サイトの右上にある [管理] リンクをクリックします。サイトで [サインイン] ページが表示されます。



3. サインインします。デフォルトのサインイン情報は、以下の通りです。これらの認証情報を使って初めてサインインしたとき、Imadmin はパスワードの変更をプロンプトします。
  - ・ ユーザー名 : admin
  - ・ パスワード : admin



**ヒント**・FlexNet Licensing Server がサービスとして構成されている場合、Windows サービスを使って FlexNet Licensing Server サービスを開始することが出来ます。FlexNet Licensing Server がサービスとして構成されていない場合、Imadmin.exe を実行して開始できます。ユーザーがライセンスをチェックアウトおよびチェックインできるようにするためには、FlexNet Licensing Server を開始しなくてはなりません。

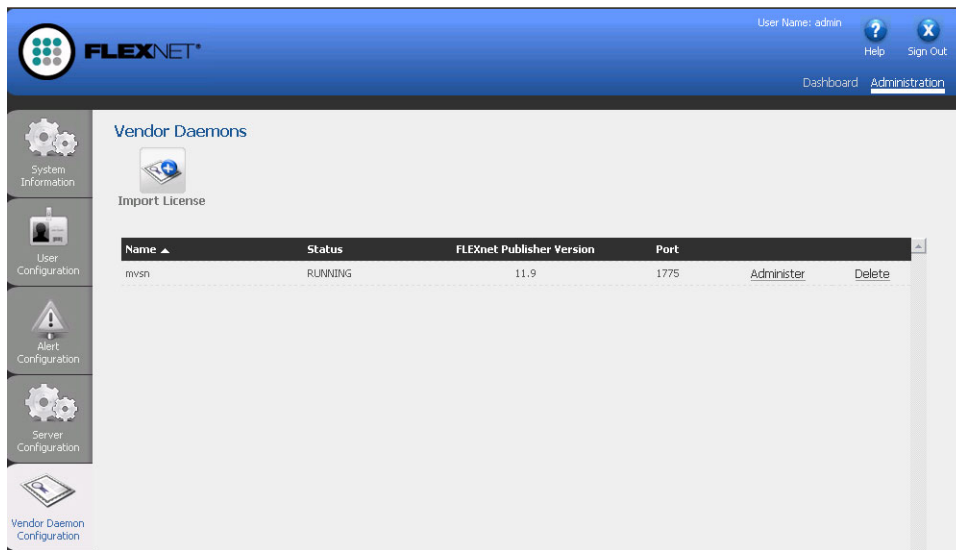
## ライセンス ファイルを Imadmin にインポートする

Imadmin の [Vendor Daemon Configuration] ページでは、ベンダー デーモンのライセンス ファイルをインポートすることができます。

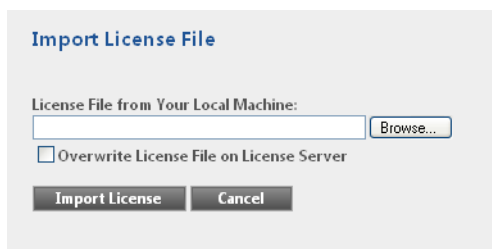


タスク: **既存のベンダー デーモンのライセンス ファイルをインポートするには、以下の手順に従います:**

1. [Administration] リンクをクリックしてから、[Vendor Daemon Configuration] タブをクリックします。



2. [Import License] ボタンをクリックします。[Import License File] ページが開きます。



3. 使用するライセンス ファイル (.lic) へのパスを指定するか、[Browse] ボタンをクリックして、そのファイルを参照します。
4. オプションで、[Overwrite License File on License Server (ライセンス サーバー上のライセンス ファイルを上書きする)] チェック ボックスを選択します。ライセンス サーバーのアップロード ディレクトリに同じ名前のライセンス ファイルが既存する場合、ライセンス サーバーは、そのファイルを上書きします。このオプションは、ライセンス サーバー マネージャーに新しいベンダー デーモンを追加するときが必要です。
5. [Import License] ボタンをクリックします。これが既存ベンダーのライセンス ファイルである場合、ライセンス サーバー マネージャーはそのファイルをライセンス サーバーの適切なディレクトリにコピーします。

6. 既存ベンダーのライセンス ファイルをインポートするときに、[Overwrite License File on License Server] チェック ボックスをクリアした場合、ベンダー デーモンを停止および開始する必要があります。新しいライセンス ファイルが読み込まれて、ベンダー デーモンが開始したときに、ライセンス ファイルに含まれるライセンスがロードされます。

既存ベンダーのライセンス ファイルをインポートして、[Overwrite License File on License Server] チェック ボックスを選択した場合、ベンダー デーモンによって自動的に更新されたライセンス ファイルが読み込まれます。この再読み込み処理が完了次第、ユーザーは任意の新しいライセンスを使用し始めることができます。新しいライセンスは、[Dashboard] にも表示されます。

新しいベンダー用のライセンス ファイルをインポートすると、ライセンス サーバー マネージャーが、ライセンス サーバー構成ファイルにベンダー デーモン情報を追加して、ライセンス サーバーがこれを管理できるようにします。ライセンス サーバー マネージャーが、ライセンス サーバーの適切なディレクトリにファイルをコピーします。

## ベンダー デーモンの管理

lmadmin の [Vendor Daemon Configuration] ページでは、ベンダー デーモンを停止、開始、およびベンダー デーモンのライセンス ファイルを再読み込みすることができます。



タスク: [ベンダー デーモンを管理するには、以下の手順に従います:](#)

1. [Administration] リンクをクリックしてから、[Vendor Daemon Configuration] タブをクリックします。

Name	Status	FLEXnet Publisher Version	Port		
mvsn	RUNNING	11.9	1775	Administer	Delete

- ベンダー デーモンの概要グリッドで、[Administer] ハイパーリンクをクリックすると、いくつかの設定が表示されます。

**Vendor Daemon:mvsn**

Vendor Daemon Port in Use: 1775

**Vendor Daemon Actions**

**Stop** **Reread License Files**

Report Log Name:  **Rotate Report Logs**

**General Configuration**

\*License File or Directory  
C:\Documents and Settings\DebbieLanders\My Documents\LicenseFiles\0004232c4c1f.lic

Vendor Daemon Location:

\*Vendor Daemon Port:  
 Use default port  
 Use this port

\*Restart Retries:

Enable Date-based Versions

**Vendor Daemon Log**

**Save** **Cancel**

- 以下の設定を使って、必要なタスクを行います。
  - Vendor Daemon Port in Use** - この読み取り専用設定は、ベンダー デーモンが FlexEnabled アプリケーションと通信するために使用する TCP/IP ポート番号を表示します。
  - Stop** - このボタンは、ベンダー デーモンを停止しますが、lmadmin は実行中のままにします。ベンダー デーモンを停止すると、このボタンは [Start] に変更されます。
  - Start** - このボタンは、ベンダー デーモンを開始します。このボタンは、ベンダー デーモンが停止しているときに表示されます。ベンダー デーモンを開始すると、ベンダー デーモンがライセンス ファイルを読み込んで、ライセンス権利をメモリーにロードします。ベンダー デーモンを開始すると、このボタンは [Stop] に変更されます。
  - Reread License Files** - このボタンは、ライセンス ファイル、トラステッド ストレージ、および任意のベンダー デーモン オプション ファイルのコンテンツを再読み込みしてから、情報をメモリーにロードします。ベンダー デーモンの再開が必要ときに、License File または Directory 設定の値が変更されていない限り、[General Configuration] セクションの License File または Directory 設定で指定されたライセンス ファイルが読み込まれます。一般的に、ライセンス ファイルのコンテンツまたはオプション ファイルが編集された場合に、このボタンを使用します。



- **Report Log Name** - 現在のレポート ログを保存するファイルの名前を入力します。
- **Rotate Report Logs** - このボタンをクリックすると、FlexNet Licensing Server は既存のレポート ログの名前を Report Log Name 設定の名前に変更して、オプション ファイルに含まれる名前を使って、新しい空白のレポート ログ ファイルを作成します。この機能を使用するには、オプション ファイルを使って、レポート ログ機能を有効化しなくてはなりません。

## FlexNet Licensing Server のシステム情報を参照する

License Server Manager (lmadmin) は、FlexNet Licensing Server についての情報および FlexNet Licensing Server ソフトウェアを実行中のシステムについての情報を表示します。



タスク: *lmadmin* でシステム情報を表示するには、以下の手順に従います:

[Administration] リンクをクリックしてから、[System Information] タブをクリックします。

The screenshot shows the FlexNet Licensing Server Administration web interface. The top navigation bar includes the FlexNet logo, the user name 'admin', and links for 'Help' and 'Sign Out'. Below the navigation bar, there are tabs for 'Dashboard' and 'Administration'. The main content area is titled 'System Information' and displays the following details:

Release Version:	10.00
License Server Manager Port in Use:	10000
Display:	192.168.1.100
Host Name:	192.168.1.100
Host Domain Name:	192.168.1.100
IPv4 Address:	192.168.1.100
IPv6 Address:	FE80::...
Ethernet Address:	08:00:27:...
Volume Serial Number:	1000000000
Local Stop Server Allowed:	Yes
Remote Stop Server Allowed:	Yes
License Reclaim Allowed:	Yes

On the left side of the interface, there is a vertical menu with icons and labels for 'System Information', 'User Configuration', 'Alert Configuration', 'Server Configuration', and 'Vendor Daemon Configuration'.

[System Information] タブには、以下の情報が表示されます:

- **Release Version** – FlexNet Licensing Server のリリース バージョン。
- **License Server Manager Port in Use** – lmadmin が接続を待ち受け (listen) するのに使用するポート番号。ポート番号を構成するには、[Server Configuration] タブを使用します。

FlexNet Licensing Server で License Server Manager (lmadmin) を使用して同時接続ライセンスをインポートおよび関連タスクを実行する

- **Display** – Windows ベースのシステムで、これはシステム名またはターミナル サーバー環境ではターミナル サーバー クライアントの名前です。UNIX ベースのシステムで、これは X ディスプレイの名前、または `ttyname()` 関数（または同様の関数）によって返された値です。
- **Host Name** – FlexNet Licensing Server を実行中のシステムのホスト名（例、prod01）。
- **Host Domain Name** – ライセンス サーバーを実行中のドメイン上にあるシステムの完全修飾ホスト名（例、prod01.flexerasoftware.com）。
- **IPv4 Address** – システムを識別するのに使用される IP バージョン 4 アドレス（例、255.255.255.255）。IPv4 アドレスは、システムで IPv4 が有効な場合に表示されます。
- **IPv6 Address** – システムを識別するのに使用される IP バージョン 6 アドレス（例、ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff）。IPv6 アドレスは、システムで IPv6 が有効な場合に表示されます。
- **Ethernet Address** – FlexNet Licensing Server ソフトウェアを実行中のシステムを識別する、マシンの ホスト ID（マシンの MAC アドレスで、物理アドレスとも呼ばれます）。
- **Volume Serial Number** – ライセンス サーバーを実行中のシステムを識別するハード ディスク シリアル番号。

## 第 1 章：InstallShield 2012 Spring 以前のダウンロードおよびライセンスについて

FlexNet Licensing Server で License Server Manager (lmadmin) を使用して同時接続ライセンスをインポートおよび関連タスクを実行する